

「公共事業コスト構造改善プログラム」

【 施策名：Ⅱ 計画・設計・施工の最適化 【2】 施工の見直し 施策11 】

現地発生材の利用による巨石張護岸

工事名：今市低水護岸工事

概要：（従来）化粧型枠護岸 → （今回）巨石張護岸

効果

- ①護岸前面に現地発生の巨石を再利用し、コンクリート・化粧型枠使用量を削減することでコスト縮減を図った。
- ②工事費を**143.1百万円**から**115.8百万円**に改善
（縮減額 約27.3百万円、縮減率 約19.07%）

